

令和5年度 大阪市立築港中学校

1年生学年通信

第172号

キックオフ



講演会の感想文

先日の『福島の人々を語る』の感想文です。少し難しい話もありましたが、福島の人々に共感しながらお話を聞くことができていたように思います。



- 福島県でどのようなことがあり、そして今福島の人たちはどのような工夫をして物を売っているのかがよく分かって、とても良い経験ができました。福島の農家の人たちも様々な工夫をして、みんなに買ってもらおうとしているのを知り、何らかの形で援助したいと思いました。これからも福島産の物に偏見を持って買わない人は出てくるかもしれませんが、それに負けずに頑張りたいと思いました。
- 福島の問題は、簡単に解決できるものではないと感じました。解決という方法はないかもしれないけど、援助はできるかなと感じたので、福島の特産品を買って捨てるよりかは、特産品の値段分、募金したらいいと思いました。
- 今日の講演を聞いて、福島では2011年の大地震の際に、原発事故が起きたことを初めて知りました。放射能によって福島は大変なことになっていたんだと学びました。放射能があることによって福島で作られている物のイメージが悪くなってしまい、不安で買えない人がいると聞いて、悪いイメージを無くす・不安に思っている人たちを安心させる方法をみんなで考えました。グラフなどを使って、福島ではもう放射能がないよというのはすごくいい方法だなと思いました。

きさらぎ
如月
2月



みずがめ座

発行日：2月14日

発行者：1年生学年主任 堺



班に分かれて話し合い



委員長・生徒会が立派に発表、お礼のあいさつをしてくれました。